

学力向上に向けた取組

函館市立鱒川中学校

1 課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と向上
- 体験的・課題解決的な学習の充実

2 課題解決の具体策

- ①個に応じた指導の充実
- ②言語活動の充実

3 取組の概要

①について

- 中部会内で毎月生徒指導交流を実施、学習指導上の課題も共通理解。
- 日常の授業～ウォーミングアップ学習（前時の復習）、小テストの実施、TTの実施、習熟度別学習を導入。教師が個に働きかけながら質問や確認を実施。体験と理論を往復できるような授業構成や進め方に改善。
- プリント、ワーク活用の工夫～習熟度に合わせて、個に応じて課題設定。
- 放課後学習、長期休業中の学習会の実施。
- 定期テスト計画と家庭学習～個に応じて、テスト勉強すべき内容を厳選して提示（テスト範囲は全員共通）。学級担任、教科担任、保護者（国の子寮）の三者がテスト勉強の進行状況、学習内容のチェックを行い、必要に応じて個別指導。テスト実施後、再テスト・やり直し、テスト勉強の反省を実施。

②について

- 職業体験学習～体験活動は2日間にわたって実施。自己決定場面を多く取り入つつ、記録・報告・まとめの表現など、言語活動を意識した活動の実施。
- 意見発表会～年1回実施。構想を立て自己の考えを伝える場面として継続実施。
- 日常の授業～思考力・判断力・表現力の基盤となるものとして共通理解し、指導計画に位置づけ、授業構成や進め方を改善。

4 成果と課題

- 少人数を生かした個別指導が実施できている。特に、教師・生徒ともにテストに対する意識が年々向上。教師は指導と評価の一体化、生徒は自分の課題や家庭学習方法の改善に役立っている。
- 表現力、発表力が身につけてきている。
- 小学校と連携した「9年間の学び」、家庭学習の充実を図る必要がある。
- 目標と評価を明確にした補充学習等の実施を工夫する必要がある。